

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書

(自 令和 0 4 年 1 0 月 0 1 日 至 令和 0 5 年 0 9 月 3 0 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 田代外科・整形外科医院
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他

- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 滋賀県甲賀市水口町泉 1 2 7 2 番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

- (3) 設立認可年月日 平成 2 5 年 0 9 月 0 4 日

- (4) 設立登記年月日 平成 2 5 年 0 9 月 2 7 日

- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	田代 広尚	医療法人社団 田代外科・整形外科医院管理者
理 事	田代 瑞佳	
同	田代 尚美	
同	田代 有加	
同	高橋 厚吏	
同	田代 真悠	
監 事	高橋 通代	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 6 条の 4 第 1 項参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
診療所	医療法人社団 田代外科・整形外科医院	2511402162	滋賀県甲賀市水口町泉 1272番地	該当なし

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
該当なし		

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
該当なし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和04年12月25日 令和3年度決算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

様式 2

法人名 医療法人社団 田代外科・整形外科医院

※医療法人整理番号 0 0 4 3 2

所在地 滋賀県甲賀市水口町泉 1 2 7 2 番地

財 産 目 録

(令和 5 年 0 9 月 3 0 日現在)

1. 資 産 額	112,268 千円
2. 負 債 額	39,141 千円
3. 純 資 産 額	73,127 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	65,687
B 固 定 資 産	46,581
C 資 産 合 計 (A + B)	112,268
D 負 債 合 計	39,141
E 純 資 産 (C - D)	73,127

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

法人名 医療法人社団 田代外科・整形外科医院

※医療法人整理番号 00432

所在地 滋賀県甲賀市水口町泉1272番地

貸 借 対 照 表
(令和5年09月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	65,687	I 流 動 負 債	15,965
II 固 定 資 産	46,581	II 固 定 負 債	23,176
1 有 形 固 定 資 産	17,280	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	815	負 債 合 計	39,141
3 そ の 他 の 資 産	28,486	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)		科 目	金 額
		I 出 資 金	30,000
		II 積 立 金	
		III 利 益 剰 余 金	43,127
		IV 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	73,127
資 産 合 計	112,268	負 債 ・ 純 資 産 合 計	112,268

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団 田代外科・整形外科医院 ※医療法人整理番号 0 0 4 3 2
所在地 滋賀県甲賀市水口町泉 1 2 7 2 番地

損 益 計 算 書
(自 令和 4 年 1 0 月 0 1 日 至 令和 5 年 0 9 月 3 0 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	212,047
2 事業費用	198,455
本来業務事業利益	13,592
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	13,592
II 事業外収益	554
III 事業外費用	212
経常利益	13,934
IV 特別利益	163
V 特別損失	156
税引前当期純利益	13,941
法人税等	2,866
当期純利益	11,075

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 6

法人名 医療法人社団 田代外科・整形外科医院
所在地 滋賀県甲賀市水口町泉 1 2 7 2 番地

※医療法人整理番号	0	0	4	3	2
-----------	---	---	---	---	---

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
			当法人の理事 長、不動産の賃 借	賃借料の支払い (注 1)	9,120	地代家賃	0

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注 1) 不動産の賃借料は、近隣相場を参考に決定している。

様式 5

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 田代外科・整形外科医院

理事長 田代広尚 殿

私は、医療法人田代外科・整形外科医院の令和4会計年度（令和4年10月01日から令和5年09月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の内容に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和5年11月25日

医療法人社団 田代外科・整形外科医院

監事 高橋 通代

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の内容に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。